

# 広報 じちしん

● 自治振興協議会連合会だより ●

▶ 第22号 ◀

【編集・発行】 福島市自治振興協議会連合会  
【事務局】 福島市政策調整部 地域協働課  
(令和3年4月1日～地域共創課)  
電話(535)1111(内線)2052



東屋國神社の桜（中野地区）

## 会長あいさつ



福島市自治振興協議会連合会  
会長 吾妻雄二

2月に発生しました福島県沖地震によって被災されました方々に対し心よりお見舞い申し上げます。

全世界に急拡大した新型コロナウイルスの状況は一層厳しさを増し、市民生活に深刻な影響を及ぼしております。当連合会においても大幅に活動が制限されることとなり、皆様の地区におかれましても新しい生活様式への対応など様々なご苦労があつたかと存じます。そのような中、地区自治振興協議会は短時間で出席人数を限定するなどの感染症対策を取りながら、無事に開催

## 市長あいさつ



福島市長  
木幡 浩

市民の皆様、事業者の皆様には、新型コロナウイルス対策にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。また、2月に発生しました福島県沖地震によって被災された方々に対し心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災から10年という節目の年を前に、令和元年東日本台風（台風19号）災害と新型コロナウイルス、福島県沖地震という試練に見舞われました。私たちはこれらの難局を乗り越えてまちづくりを進めていかななくてはなりません。

新型コロナウイルスに対しては、スピーディーに支援策を実行し、医療や市民

することができました。ひとえに皆様のご協力のおかげと感謝を申し上げます。

「安全安心なまちづくり」の課題解決にあたっては、市民と行政が協働の担い手として共に手を携え、地域の課題解決に向けて取り組んでいくことが重要であります。

現段階においても依然として感染予防対策は不可欠であり予断を許しません。今後とも行政と一体となり最大限に取り組んで参りたいと思っております。

おわりに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願いますとともに、福島市のさらなる発展のため各種事業を一層推進して参りますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

生活への支援、地域経済対策を推進してまいりました。今後も感染防止対策を徹底しながら、社会経済活動回復の両立を図り多様な分野において変革を進めてまいります。

コロナ禍の中、多くの方々に元氣と勇気を与えてくれたのが連続テレビ小説「エール」の放送でした。「エール」で残してくれた遺産を活用しながら、「古閑裕而のまちづくり」を推進してまいります。

また、子育て支援や教育環境の充実を図るとともに、若者などの移住・定着を促し市内全域が活気に溢れるまちとなるよう努めてまいります。

結びに、コロナ後を見据えた新しいまちづくりが一層進展するよう自治振興協議会の皆さまと一丸となり、新ステージを創って参りたいと思っておりますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

地区別開催状況・協議テーマおよび提案事項件数

地区名	区分	開催状況		協議テーマ件数		提案事項件数	
		月日	会場	2年度	元年度	2年度	元年度
本庁	中央東	10月28日	NCVふくしまアリーナ	1	2	23	19
	中央西	10月27日	三河台学習センター	1	1	5	8
渡	利	8月18日	渡利支所	2	3	94	92
杉	妻	8月4日	杉妻支所	1	2	99	95
蓬	菜	10月9日	蓬菜学習センター本館	2	2	38	46
清	水	8月3日	清水支所	1	2	146	154
東部	東部	9月25日	もちぎり学習センター	2	3	47	52
	大波					25	40
計						72	92
北信	鎌田	8月28日	北信支所	2	3	53	45
	瀬上					18	18
	余目					60	70
	計					131	133
吉井	田	9月28日	吉井田支所	1	3	84	78
西	荒井	10月19日	西学習センター	2	2	36	27
	佐倉					79	83
計						115	110
土湯温泉町		7月29日	土湯温泉まちおこしセンター湯楽座	2	3	6	0
信陵	笹谷	10月14日	信陵支所	2	3	58	55
	大笹生					52	54
計						110	109
立子山		8月1日	立子山支所	1	2	21	21
飯坂	飯坂	10月7日	パルセいいざか	1	2	31	36
	平野					78	57
	中野					21	18
	湯野					64	74
	東湯野					15	17
	茂庭					17	17
計						226	219
松川		8月19日	松川支所	2	2	203	200
信夫		10月1日	信夫支所	2	2	197	211
吾妻		10月5日	吾妻学習センター本館	2	3	207	183
飯野		8月24日	飯野学習センター	1	2	70	75
合計				28	42	1,847	1,845

令和2年度  
自治振興協議会  
開催状況

令和2年度の自治振興協議会は新型コロナウイルス感染症の影響から、例年より1カ月遅れで、7月29日の土湯温泉町地区から、10月28日の中央東地区まで、一部合同開催を含め28地区18会場で開催されました。

また、参加人数を大幅に減らしての開催となり、各地区合計で475名の委員の出席をいただきました。

市からは市長をはじめ各テーマに関連する各部長などが出席して、それぞれの地区の課題解決に向けた活発な意見交換を行い、情報の共有化を図りました。



杉妻地区自治振興協議会(令和2年8月4日)

協議テーマ

協議会当日の協議テーマ件数は、各地区合計で28件(複数課題があるため、市からの回答件数は48件)が提出されました。

協議テーマ28件のうち、新規が17件(60%)、前年から継続しているものが11件(40%)となっています。

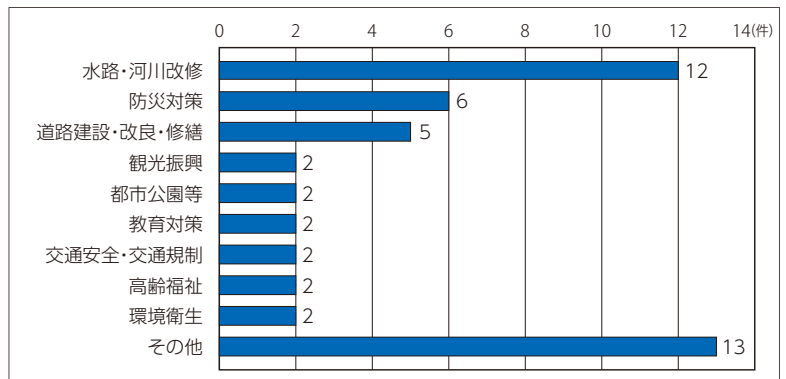
市からの回答件数の内容別割合は、下記に示すように水路・河川改修に関するものが12件(25.0%)、次に防災対策に関するものが6件(12.5%)、次に道路建設・改良・修繕に関するものが5件(10.4%)となつています。

昨年度の台風19号の影響により、水路・河川改修及び防災対策に関するテーマが増加しているのが本年度の特徴となっています。

市の対応

協議テーマは、各地区自治振興協議会で十分に検討し、市に対して提案された、地区全体あるいは市全体に関わる重要な内容であります。

市では、重要性、緊急性を十分考慮し、課題解決に努めるため、総合計画や各種まちづくり計画などと調整を図り、長期的な年次・財政計画で実現を図っていきます。



◆令和2年度 協議テーマ 市からの回答内訳

# 自治振興協議会とは

自治振興協議会は、昭和32年に発足した福島市独自の地域広聴制度です。福島市では、各地区で自治振興協議会を開催しており、協議会の委員が、市長をはじめとする市の幹部職員と、市政に関する意見の交換を行っています。

例年、6月下旬から8月下旬までの期間に一部合同開催を含め、市内18会場で開催しています。

## 開催目的

各地区から、地区の課題や提言及び提案を聴き、意見の交換を行うことにより、協働による安全で安心して暮らせるまちづくりの推進と、市民と行政とが情報の共有化を図るために開催しています。

## 協議テーマ

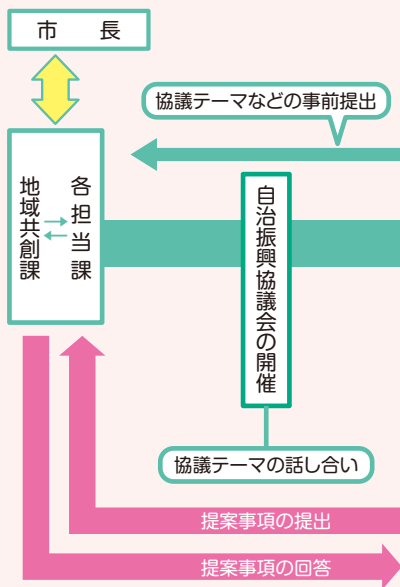
身近な住みよい地域づくりに関する事項や、地区全体あるいは市全体に関わる意見・提言など、地区よりあらかじめ提出された地区の最重要課題について話し合います。

## 地区自治振興協議会

市内28地区に自治振興協議会が組織され、地区の協議テーマや提案事項などの取りまとめ、協議会開催の運営などにあたっています。

協議会は町内会をはじめ、地区の各種団体の代表者や学識経験者で構成され、地域振興並びに地域住民の福祉の向上を図ることを目的とし、「地域のまちづくり」に取り組む中心的組織として大きな役割を担っています。

## 自治振興協議会概要図



### 福島市自治振興協議会連合会 (28地区の会長で構成)

目的 各地区自治振興協議会の連絡調整ならびに地域振興を図る

### 地区自治振興協議会 (28地区)

目的 地域の振興ならびに地域住民の福祉の向上を図る

- 事業
1. 地域住民の相互親睦ならびに各種機関、団体間の連絡調整に関する事
  2. 市の行政について、地域の要望・意見などを取りまとめ、具申すること
  3. その他目的達成のため必要と認める事項

※モデル規約による。地区によって相違する場合があります。

#### ◎自治振興協議会の開催に係る役割

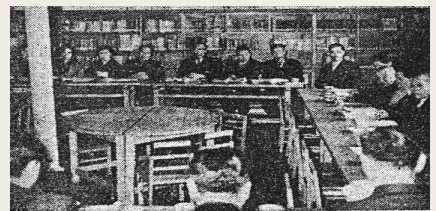
- 協議テーマ、提案事項などの取りまとめ
- 本開催の運営

#### 構成機関および団体など

町内会（自治会）、農業委員、民生児童委員、消防団、農協、商工会、観光団体、衛生団体、農業団体、PTA、老人クラブ、女性団体、青年会、交通対策協議会、文化団体など

- ・顧問（市議会議員など）
- ・学識経験者
- ・地域アドバイザー

## 自治振興協議会設置経過



昭和32年度自治振興協議会（第三小学区）

福島市は、昭和22年から昭和32年の合併（15町村）により急速に市域が拡大したため、「陳情書」や「要望書」などの書面では、各地区の実情を行政に対して正確に届けられない状況になりました。

このことから、地区の町内会（自治会）を中心として、地域の各種団体・機関の代表者などによる自治振興協議会が自主的に組織されました。

昭和32年に、各地区の自治振興協議会で最初の懇談会が開催され、以降、現在に至るまで福島市独自の地域広聴制度としての役割を担っています。

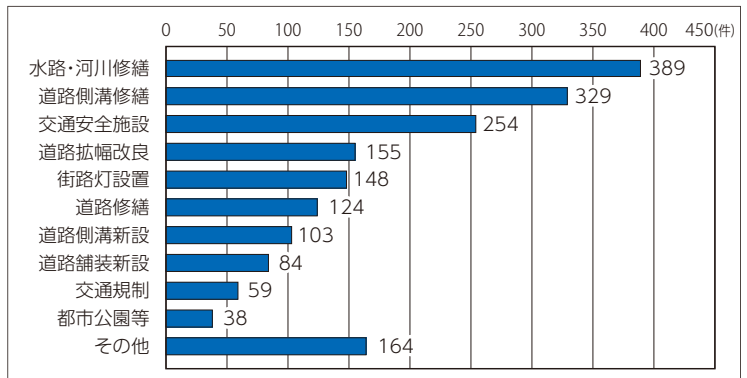
### 提案事項

令和2年度は、総数で1,847件の提案事項が市に対して提出されました。

内容別には、水路・河川修繕が389件(21.1%)、次いで道路側溝修繕が329件(17.8%)、交通安全施設が254件(13.8%)、道路拡幅改良が155件(8.4%)、街路灯設置が148件(8.0%)、道路修繕が124件(6.7%)、道路側溝新設が103件(5.6%)となつています。

昨年同様に道路や水路、河川に關係する提案が全体の9割近くを占めています。

より良いまちづくりを進めるために、地区の皆さんが身近な課題について協議・提案をすることによって、地区住民の意見が直接行政に反映されています。



◆令和2年度 提案事項内訳

### 市の対応

地域生活に密着した多くの提案事項が提出されていますが、市全体での実施率は約31%(令和元年度)と実施できる件数には限りがあります。

市では、事業の緊急性と市全体のバランスなど、総合的に勘案して事業を実施してまいります。提案内容の実現に向けて、最善の努力をしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 会長コメント



中野地区自治振興協議会  
会長 佐藤 仁一

中野地区は福島市の北西部に位置し、摺上川支流の小川に沿うように細長く地形が展開しています。耕地面積は少ないものの果樹栽培が盛んで、特にモモの栽培は地区の発展に大きな役割を果たしてきました。

また、山形県との県境を有し、明治初期の栗子隧道工事に伴い、大平集落と大滝集落が形成され、工事関係者の宿舎や宿場として大変賑わいました。

観光面では、日本三大不動で知られる中野不動尊は、かつて信達地方(信夫郡、伊達郡)で盛んであった養蚕の守り社として、その後は地区住民や参詣人の心の拠り所として崇拜されています。

現在は、農業従事者の高齢化や後継者不足、少子化に伴う小学校の統廃合、さらには水利組合の再編などの課題が山積していますが、地区の発展のため、市関係機関と地区住民が連携を図りながら、その解決に取り組んでまいります。



中野不動尊(大日堂)

# 協議テーマの実施状況

自治振興協議会の協議テーマは、各地区の重要な課題や提言について、地区より現状と課題の説明を行い、市はどのような解決方法があるのかを示し、より良い解決策について話し合いを行っています。協議テーマに提案された事業について紹介します。

## 十六沼公園の周辺整備について

(平成9年度)

十六沼公園へのアクセス道路は、一級市道笹谷・中野線のみであり、施設の充実による利用者の増加に



伴う交通渋滞が著しく、利用者や地区の市民生活に影響を及ぼしていることから、交通渋滞の緩和を図るため、十六沼公園の周辺整備を要望しました。

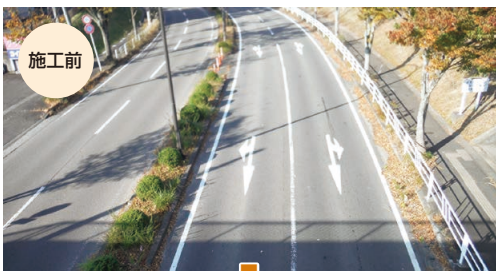
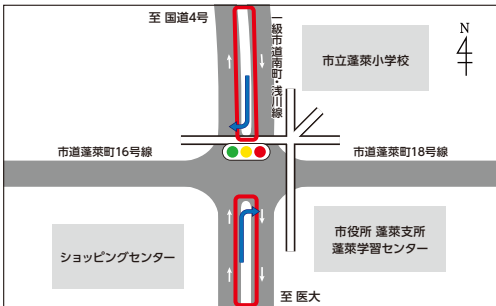
市では十六沼公園において大きな大会の際には、主要地方道上名倉・飯坂・伊達線との交差点から

## 蓬萊小学校前交差点に右折レーンを設置することについて

(平成28年度)

蓬萊小学校前交差点は、団地から市の中心市街地に通じる主要道路とショッピングセンターに至る生活道路とが交わる通勤通学・買い物等の人と車の通行が多い交差点です。

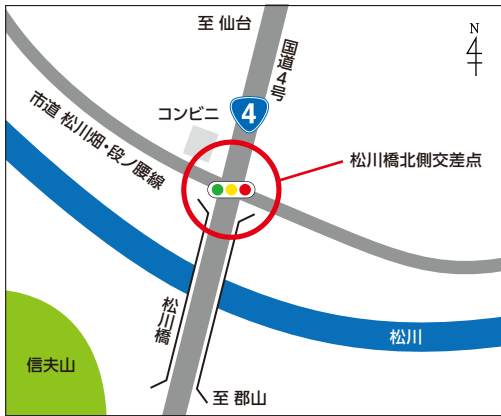
特に通勤時は、北から来て蓬萊小学校前を右折する車、南から市



の中心市街地に通勤する車が多い状況であり、人身事故や追突事故が発生しておりました。そこで、地域内の交通安全を守るため、交差点に右折レーンを設置することを要望しました。市では既存幅員内で右折レーンの設置について、福島県警察本部交通規制課と交差点協議を重ね、今年の2月に右折レーンが完成しました。これにより交差点周辺の交通安全が確保されました。

十六沼公園までの区間で混雑がみられていたことを確認し、二級市道川子坂・明神町線の拡幅について、十六沼公園北側の整備と併せ

て工事を完了しました。これにより渋滞の緩和が期待されます。



国道4号松川橋北側の交差点は、中学校・高校に通学する生徒並びに自転車通勤の利用者も多く、朝夕の混雑時には身の危険を感じる交差点となっており、数年前には不幸な事故も発生しています。

平成26年度には、松川橋北側交差点に右折レーンが設置されましたが、右折用信号機は、まだ設置されていないため、信号の変わり目に無理な右折をする車両が後を絶たない状況であったことから当該信号機設置について要望しま

**松川橋北側交差点へ  
右折用信号機を設置することについて  
(平成25年度)**



した。

市では福島県警察本部へ申し入れ、朝と夕方の時間帯に交通調査を実施し、渋滞が発生していることが確認できたことから、右折矢印付き信号機が設置されました。これにより円滑な交通と安全の確保が図られました。



コラッセふくしまより中央西地区と吾妻連峰を望む

## 地区じちしん紹介⑳

— 中央西地区 —



中央西地区自治振興協議会

会長 清水 徹

中央西地区は、福島市を南北に走るJR東北新幹線・東北本線を挟み、中心市街地の西側に位置する地域で、県都福島市の玄関となる福島駅西口を中心にまちづくりが進められている地区です。面積は約2・7K㎡で、住宅等が密集しているた

め、人口密度の高い地域となっております。

平成7年の福島国体の開催を契機に都市整備が進んだ地域でもあり、今後「腰浜町町庭坂線」や「方木田茶屋下線」の延伸事業も計画される等、さらに市街化が進むと期待されております。

また、建築から40年が経過し老朽化が進んでいる三河台学習センターについては、当自治振興協議会でもかねてより新築要望をしておりますが、令和5年新館供用を目指し、現在造成工事が進められております。令和の時代と地域に相応しい文化の拠点となることを期待するものであります。

今後も福島に住んでよかったと思えるよう、各種団体と連携を図り、安全で安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいります。

令和2年度  
地域づくり支援事業

地域づくり支援事業は、地区自治振興協議会を通じて提出された提案などを、地域の皆さん自らが緊急性や利便性などについて話し合い、事業選定を行っていただくことで、市民と行政が協働で安全安心な住みよい地域づくりの推進を図ることを目的としています。

この事業は、ハードとソフトの両面からなる2つの事業で形成しており、ハード事業の「地域生活基盤整備事業」は、道路側溝や交通安全施設等の生活基盤の整備を行う事業です。

一方、ソフト事業の「地域コミュニティ等支援事業」は、地域の課題解決や地域コミュニティの活性化などに取り組む、地域活動を支援する事業です。

地域生活基盤整備事業(ハード事業)

地域生活基盤整備事業は、地域生活における身近な生活基盤の整備を行うことにより、住みよい地域づくりの推進を図ることを目的とした事業です。地域全体の視点に立ち緊急性・利便性を考慮し事業が進められ、令和2年度は、約1億5千万円の事業費で、道路街路灯や道路反射鏡設置、道路側溝新設・修繕など各地区で計309件の事業が実施されました。

これにより、身近な地域課題の解決につながり、地域住民の不安解消など、安全で快適な住みよい地域づくりの推進が図られています。

令和2年度地域生活基盤整備事業  
実施状況(ハード)

	事業内容	件数
1	街路灯設置	76
2	反射鏡設置	45
3	道路側溝修繕	58
4	道路除草	57
5	道路側溝新設	18
6	道路防護柵設置	8
7	道路舗装修繕	7
8	その他	40
	計	309

(令和3年2月25日現在)

道路側溝修繕工事(松川地区)



施工前



施工後

令和2年度地域コミュニティ等支援事業実施状況  
(ソフト)

団体種別	件数	割合	実施内容等
町内会、連合会等	41	46%	掲示板・看板設置、広報紙作成、史跡・防犯マップ作成、見守り・環境美化活動等
交通対策協議会	14	16%	事故防止看板設置、交通安全啓発活動等
市民活動団体	11	12%	地域のコミュニティ活行事業、景観保全活動、観光案内板設置、観光マップ作成等
見守り団体	10	11%	小学校登下校の見守り活動等
健全育成推進団体	7	8%	掲示板設置、見守り活動、交通安全啓発活動、防犯活動等
交通安全母の会	4	5%	交通安全啓発活動等
防犯協会	2	2%	広報紙・防犯カレンダー作成
計	89		

(令和3年2月28日現在)



信夫の里まちづくりワークショップ  
事業(信夫地区)

これにより、地域コミュニティの活性化が図られ、住みよい地域づくりの推進につながっています。

地域コミュニティ等支援事業は、地域の課題解決や地域コミュニティの活性化などに自主的に取り組む地域活動を支援する事業です。令和2年度は、2月末現在で町内会報作成や掲示板の設置、交通事故防止活動や市民活動事業、児童生徒の見守り活動や防犯活動など、地域活動を行う89団体に対して約1,360万円の事業費補助がされました。

地域コミュニティ等支援事業(ソフト事業)

## 連合会活動報告

### 総 会

令和2年度 福島市自治振興協議会連合会総会は6月22日に開催され、令和元年度の事業報告、収支決算報告、令和2年度の地区自治振興協議会の開催要項や事業計画案、収支予算案について審議しました。

本連合会は、市民と行政が一体となり市政の発展と地域の振興、毎年開催される各地区自治振興協議会の連絡調整を図ることを目的として、昭和61年に設立されました。現在、市内28地区の地区自治振興協議会により構成されています。

### 研修会および意見交換会

9月18日に開催した市政研修会では「福島市町内会連合会」と合同開催し、市政への理解を深めるとともに、地区親交も深めました。「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の会場である「あづま球場」の会場である「あづま球場」の施設整備状況と大会のために張り替えた人工芝を見学いたしました。見学後に延期となっている現在の状況について説明を受けました。

会場を福島大笹生インターチェンジ周辺に移し「福島おおぞうインター工業団地」に立地する誘致企業の株式会社ロジムの社屋を訪問し事業内容や進出してきた理由などについてお話を伺いました。

また、令和4年度に開業予定の「(仮称)道の駅ふくしま」の建設現場の見学と、整備計画および進捗状況について説明を聞きまし

た。

11月25日には、各地区自治振興協議会会長による意見交換会を開催し、次年度の開催に向けて意見交換が行われました。

なお、優良都市視察研修については、新型コロナウイルス感染症防止の観点より、今年度は中止といたしました。



意見交換会 ザ・セレクトン福島  
(令和2年11月25日)



市政研修会 あづま球場  
(令和2年9月18日)

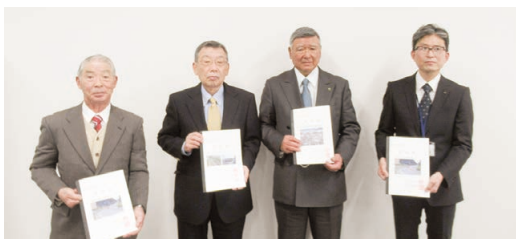
### 国・県等要望活動

1月29日に福島県県北建設事務所に対し、河川の改修事業と水害対策及び道路整備に関する要望書3件を提出しました。福島県県北建設事務所からは、濁川の要望については、次の出水期までには堆砂除却等の安全確保を進めていくとのことと、改修計画等については地域の方々の意見を聞きながら検討していくとの話がありました。

要望案件については、いずれも、子どもからお年寄りまで安全安心で快適な生活を送るために、大変重要な課題でありますので、引き続き国や県に対して地域の生の声を伝えてまいります。

### 要望内容

- 1 濁川上流の改修事業及び水害対策について【杉妻・信夫地区】
- 2 都市計画道路矢剣町渡利線ほかの整備促進について【渡利地区】
- 3 国道115号の整備改善について【大波地区】



要望活動  
(令和3年1月29日)